

近森オルソリハビリテーション病院 画像診断部

部長 田村 淳也

1. 活動状況および撮影実績

当部署の業務として、3名の診療放射線技師（中村、久保、田村）が一般撮影に従事しています。2025年度の総撮影件数は2,389件（外来：17%、入院：83%）でした。前年度との比較では、外来が56件増加した一方で入院が76件減少し、全体では20件の微減となりました。過去5年間の推移（図1）および月別件数（図2）において、大きな変動はなく、安定して推移しています。

2. 機器管理およびシステム移設

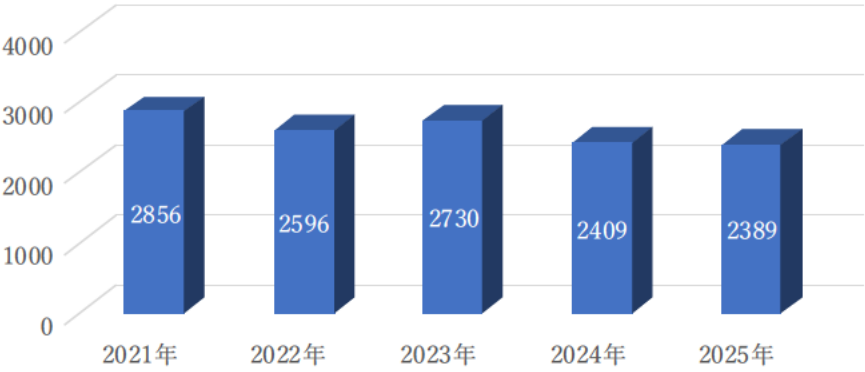
安全かつ安定した画像提供を維持するため、日々の始業・終業点検に加え、年1回のメーカー点検を継続しています。主要設備であるフラットパネル（2008年導入）については、2022年以降、部品調達の困難が予想される状態にありました。これを受け、2025年11月5日に外来センターで使用されていたシステム（2014年導入）への移設・更新を実施しました。

適切なメンテナンスを継続することで、今後5年間は安定した運用が可能であると判断しています。また、X線コンソールについても同様に外来センターで使用されていた機器へ更新を完了しました。

3. 安全管理・行政対応

備品チェック表を活用した機器の性能維持に努めるとともに、放射線管理として、年2回の漏洩線量測定を実施し、安全性を確保しています。2025年11月19日に実施された保健所の立入検査においても、指摘事項はなく無事に終了いたしました。

【図1】オルソリハビリテーション病院
5年間のX線撮影件数推移



【図2】2025年月別件数

